

2023年9月7日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2023年9月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 青木 義美)は、3ヵ月ごとに「OKB景況指数」を公表しております。このたび、2023年9月期調査報告を取りまとめましたのでご案内します。

調査結果要旨

景況の水準	自動車関連を中心に生産活動が大幅に回復。景気全般は9.8(前回比+12.0)と、2019年6月期以来17期ぶりにプラス圏となった。
景況の方向	生産活動と設備投資がけん引し、3ヵ月後の景気は良化を見込む。一方、企業収益は原材料、人件費、燃料費等の高騰に価格転嫁が追いつかず悪化する見通し。
追加調査	足元の設備等への投資は、「人材関連投資」、「省力化投資」、「デジタル投資」など、いずれも増加しており、今後も増勢は続く見通し。投資に積極的な業種は、「不動産業」、「運送業(物流・倉庫)」、「輸送用機械器具製造業」となった。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長を調査対象としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景況の水準と方向を集計

「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景況水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤・梅木 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

OKB景況指数（2023年9月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長および法人営業部担当者（122名）
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2023年8月上旬に調査票を配付し、8月下旬までに回収

調査結果

景気的水準： 自動車関連を中心に生産活動が大幅に回復。景気全般は2019年6月期以来17期ぶりにプラス圏となった。

景気の方： 生産活動と設備投資がけん引し、3ヵ月後の景気は良化を見込む。一方、企業収益は原材料、人件費、燃料費等の高騰に価格転嫁が追いつかず悪化する見通し。

	景気的水準(2023年9月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は9.8（前回比+12.0）と、5期連続で上昇。2019年6月期以来17期ぶりにプラス圏となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・+10.1と「良化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車産業を中心に持ち直しの兆しが見られ、また、新型コロナの5類移行により人流が増加してきており、景気は全般的に良化傾向にある。一方で原材料高、電気代高騰の継続が収益圧迫要因となっている。 	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県19.3（前回比+20.7）、岐阜県2.6（前回比+5.7）と、両県ともにプラス圏となった。特に愛知県の上昇幅が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は+14.7と「良化」超 ・岐阜県は+6.2と「良化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では、自動車生産の回復もあり生産活動は上向き傾向。製造業の受注状況が良くなってきている。ただし、全般的に物価上昇の影響を受けており、利益圧迫による業績の下押し圧力はある。 ・岐阜県では、自動車関連製造業は半導体不足の解消に伴い年初より高い受注量を維持。食料品関連も受注が堅調に推移。一方、工作機械関連製造業は昨年からの反動減や中国景気減速の影響を受け、受注が減少傾向。 	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨・郡上を除く全ての地域が前回調査から上昇。東濃・可茂、飛騨・郡上を除く地域がプラス圏となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 名古屋、東尾張、三河、岐阜、西濃、東濃・可茂、桑名・四日市 ・「悪化」超 飛騨・郡上
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【三河地域】 自動車部品製造において、部品供給不足が解消されつつあり生産数が回復。価格転嫁も進み利益面も改善傾向。円安基調もプラス要因となっている。一方、運送業はガソリン価格高騰による影響が大きく、景況感は軒並み厳しい。</p> <p>【飛騨・郡上地域】 観光客は増えているものの、人手不足により受け入れ体制が整っていない。土木関連については公共工事の減少の影響が大きく業況は低調。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、全ての項目が前回から上昇。「企業収益」を除く項目がプラス圏となった。 ・特に愛知県は「生産活動」が25.3（前回比+17.3）、「設備投資」が16.0（前回比+12.7）と上昇幅が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「資金需要」 ・「減少」超 「企業収益」 ・「不足」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」： 旅行やイベント関連消費は回復傾向にある一方、食料品や生活用品は値上がり著しく節約傾向にある。</p> <p>「生産活動」： 自動車関連は半導体不足の影響が和らいできており、受注及び生産計画が回復傾向にある。反面、車種によって生産活動にムラがある。好調だった工作機械やプラスチック関連の受注状況には陰りがあり、先行きが見通しにくい状況。</p> <p>「設備投資」： コロナ禍で停滞していた工場や設備の移転・増設が引き続き増加基調。また、営業拠点集約のための土地ニーズが旺盛。SDGs、カーボンニュートラル、IT関連等、持続的かつ効率的な経営に資する設備投資に積極的な意見が聞かれる。</p> <p>「企業収益」： 公共料金や原材料価格の高騰が収益を圧迫。価格転嫁は進んでいるものの、賃上げによる人件費増加など更なるコスト増も想定され、今後も厳しい状況は続く。</p> <p>「雇用」： 製造業は生産活動の活発化により人手不足が生じている。また、飲食をはじめとするサービス業においてもコロナ明けで飲食・旅行需要が回復してきており人材ニーズが増している。</p>	

* (支店長コメント) は、該当エリア・項目の調査結果(水準・方向)と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2023年9月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	13.2 (+10.5) ↑	21.1 (+15.8) ↑	28.9 (+21.1) ↑	10.5 (+10.5) ↑	▲2.6 (+5.3) ↑	13.2 (0.0) ⇐	76.3 (+15.8) ↑
東尾張	19.6 (+17.9) ↑	10.7 (▲7.1) ↓	25.0 (+14.3) ↑	19.6 (+7.1) ↑	▲8.9 (+7.1) ↑	16.1 (+8.9) ↑	62.5 (+5.4) ↑
西尾張	14.7 (+26.5) ↑	0.0 (0.0) ⇐	5.9 (0.0) ⇐	14.7 (+14.7) ↑	▲20.6 (+11.8) ↑	8.8 (+14.7) ↑	73.5 (+11.8) ↑
三河	36.4 (+36.4) ↑	13.6 (+18.2) ↑	50.0 (+45.5) ↑	18.2 (+27.3) ↑	4.5 (+9.1) ↑	▲9.1 (▲9.1) ↓	68.2 (+9.1) ↑
岐阜	3.6 (+2.4) ↑	10.7 (+2.4) ↑	14.3 (+10.7) ↑	4.8 (▲2.4) ↓	▲21.4 (▲6.0) ↓	▲4.8 (▲2.4) ↓	66.7 (▲1.2) ↓
西濃	8.3 (+18.3) ↑	▲6.7 (▲1.7) ↓	15.0 (+10.0) ↑	15.0 (+5.0) ↑	▲5.0 (+13.3) ↑	0.0 (+6.7) ↑	73.3 (+6.7) ↑
東濃・可茂	▲2.5 (+5.0) ↑	10.0 (+17.5) ↑	▲2.5 (0.0) ⇐	▲15.0 (0.0) ⇐	▲27.5 (+5.0) ↑	▲5.0 (+12.5) ↑	77.5 (+5.0) ↑
飛騨・郡上	▲20.0 (▲40.0) ↓	0.0 (▲10.0) ↓	▲20.0 (0.0) ⇐	0.0 (▲20.0) ↓	▲30.0 (+10.0) ↑	0.0 (0.0) ⇐	90.0 (+20.0) ↑
桑名・四日市	7.1 (+7.1) ↑	28.6 (+14.3) ↑	14.3 (+14.3) ↑	0.0 (+28.6) ↑	▲28.6 (+14.3) ↑	▲14.3 (0.0) ⇐	21.4 (▲14.3) ↓
愛知県(4地域)	19.3 (+20.7) ↑	11.3 (+4.0) ↑	25.3 (+17.3) ↑	16.0 (+12.7) ↑	▲8.0 (+8.0) ↑	10.0 (+5.3) ↑	69.3 (+10.0) ↑
岐阜県(4地域)	2.6 (+5.7) ↑	4.6 (+3.6) ↑	9.3 (+7.7) ↑	3.6 (▲0.5) ↓	▲18.0 (+3.1) ↑	▲3.1 (+3.6) ↑	72.2 (+3.6) ↑
三重(1地域)	7.1 (+7.1) ↑	28.6 (+14.3) ↑	14.3 (+14.3) ↑	0.0 (+28.6) ↑	▲28.6 (+14.3) ↑	▲14.3 (0.0) ⇐	21.4 (▲14.3) ↓
全地域	9.8 (+12.0) ↑	8.4 (+4.2) ↑	16.2 (+12.0) ↑	8.7 (+6.1) ↑	▲14.2 (+5.6) ↑	2.0 (+4.2) ↑	69.0 (+5.6) ↑

(*1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(*2) ()内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(*3) 雇用は「不足-過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2023年12月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	21.1 ↑	26.3 ↑	36.8 ↑	47.4 ↑	21.1 ↑	36.8 ↑	36.8 ↑
東尾張	10.7 ↑	14.3 ↑	25.0 ↑	17.9 ↑	0.0 ⇐	14.3 ↑	17.9 ↑
西尾張	0.0 ⇐	5.9 ↑	▲5.9 ↓	▲11.8 ↓	▲23.5 ↓	17.6 ↑	29.4 ↑
三河	36.4 ↑	0.0 ⇐	18.2 ↑	36.4 ↑	18.2 ↑	18.2 ↑	27.3 ↑
岐阜	11.9 ↑	▲7.1 ↓	0.0 ⇐	9.5 ↑	▲7.1 ↓	9.5 ↑	28.6 ↑
西濃	10.0 ↑	▲10.0 ↓	3.3 ↑	16.7 ↑	▲13.3 ↓	16.7 ↑	13.3 ↑
東濃・可茂	5.0 ↑	10.0 ↑	20.0 ↑	0.0 ⇐	▲30.0 ↓	0.0 ⇐	15.0 ↑
飛騨・郡上	▲60.0 ↓	▲40.0 ↓	▲20.0 ↓	0.0 ⇐	▲60.0 ↓	0.0 ⇐	40.0 ↑
桑名・四日市	14.3 ↑	28.6 ↑	28.6 ↑	14.3 ↑	▲42.9 ↓	14.3 ↑	42.9 ↑
愛知県(4地域)	14.7 ↑	13.3 ↑	20.0 ↑	21.3 ↑	2.7 ↑	21.3 ↑	26.7 ↑
岐阜県(4地域)	6.2 ↑	▲6.2 ↓	4.1 ↑	9.3 ↑	▲16.5 ↓	9.3 ↑	21.6 ↑
三重(1地域)	14.3 ↑	28.6 ↑	28.6 ↑	14.3 ↑	▲42.9 ↓	14.3 ↑	42.9 ↑
全地域	10.1 ↑	3.4 ↑	11.7 ↑	14.5 ↑	▲9.5 ↓	14.5 ↑	24.6 ↑

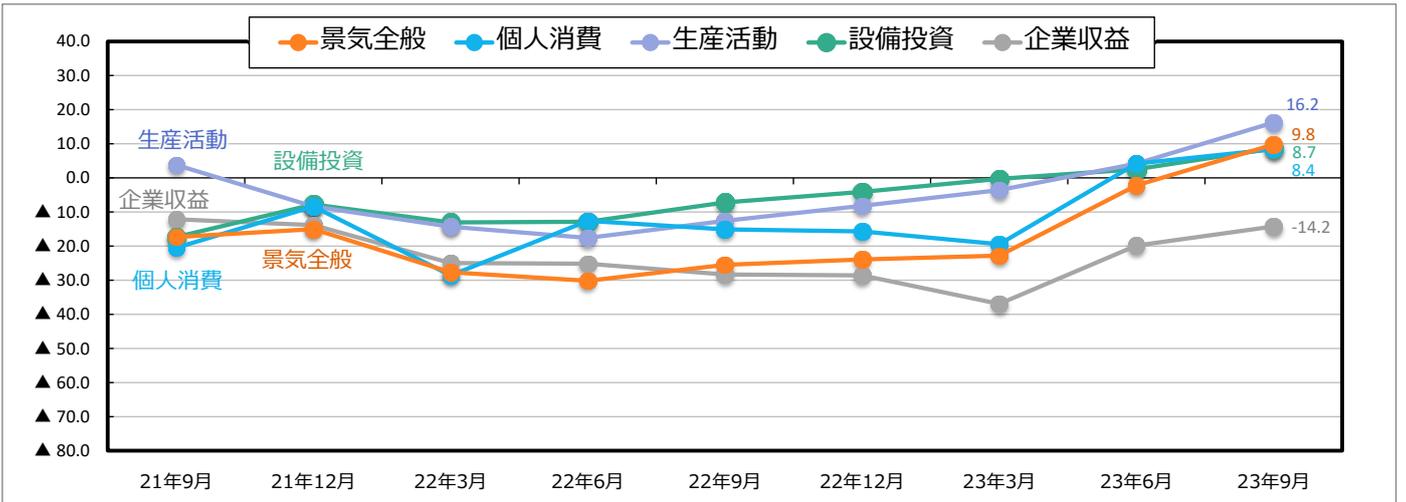
(*1) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

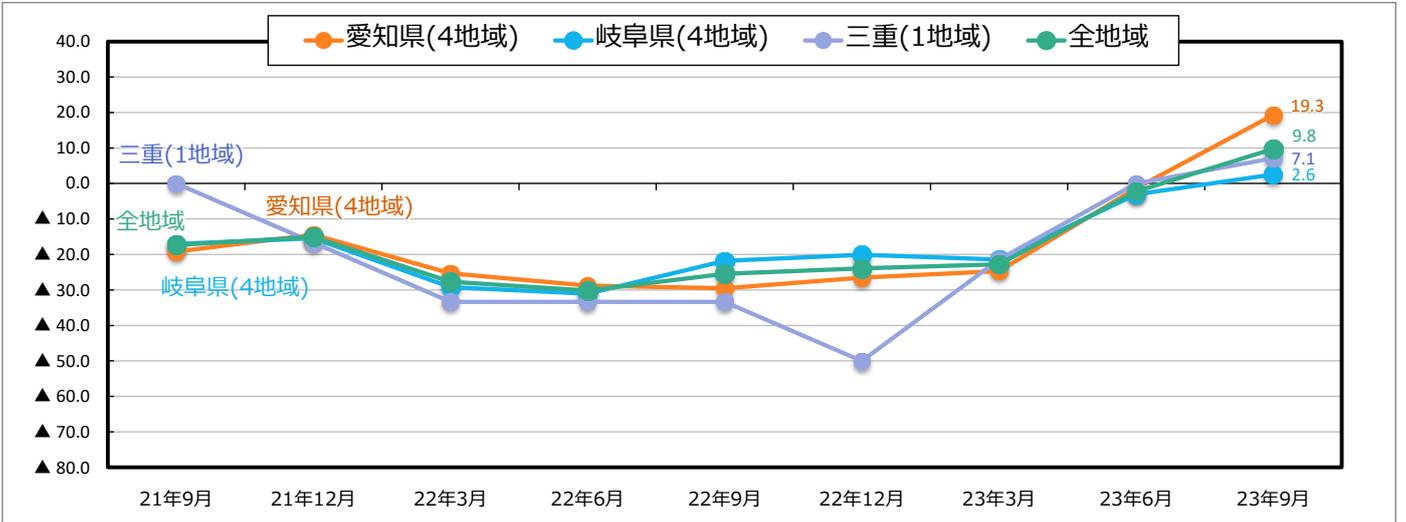
「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

「景気の水準」の推移

■項目別（資金需要、雇用を除く）

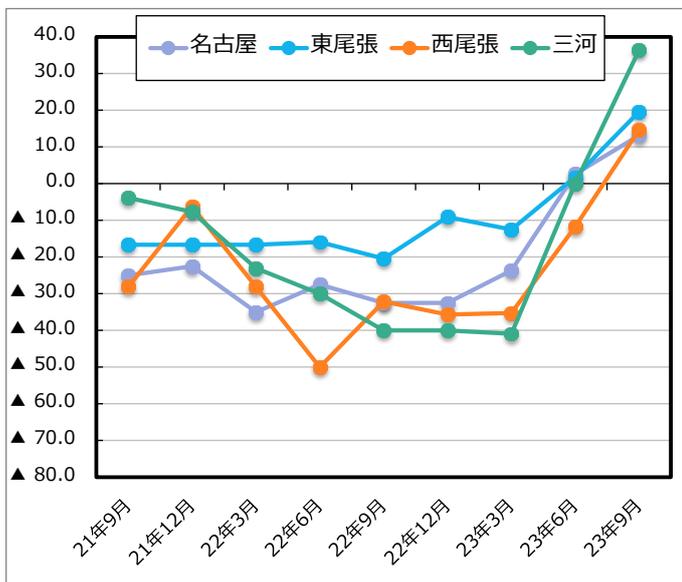


■県別（景気全般）

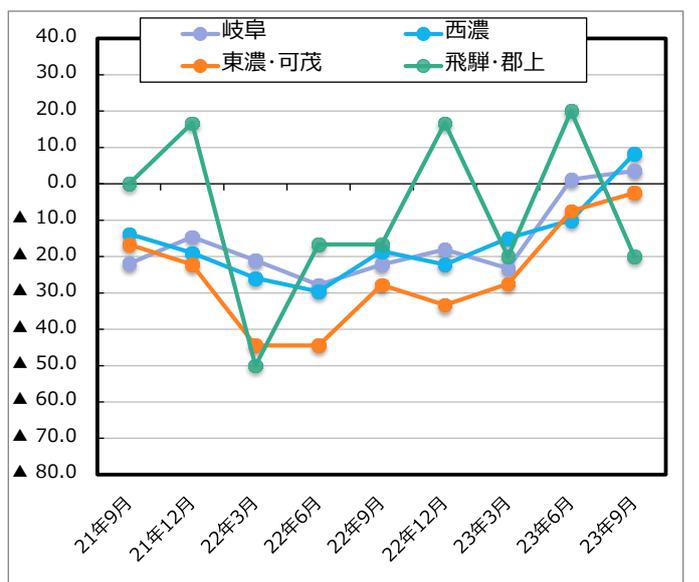


■地域別（景気全般）

①愛知県内



②岐阜県内



追加調査 1

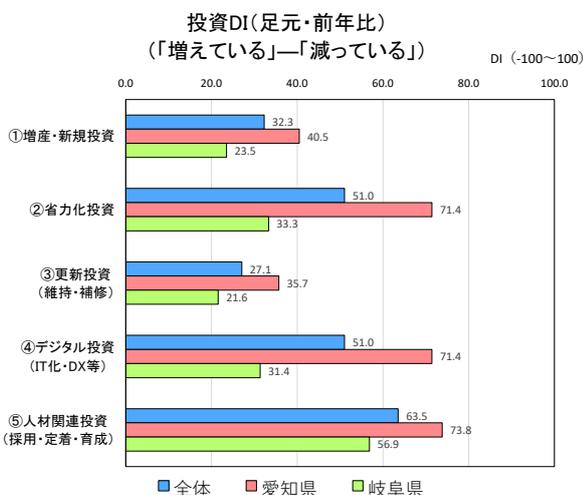
「地域企業の設備等投資動向」

追加調査「地域企業の設備等投資動向」では法人取引店支店長に支店エリア内企業の投資動向について尋ねた。

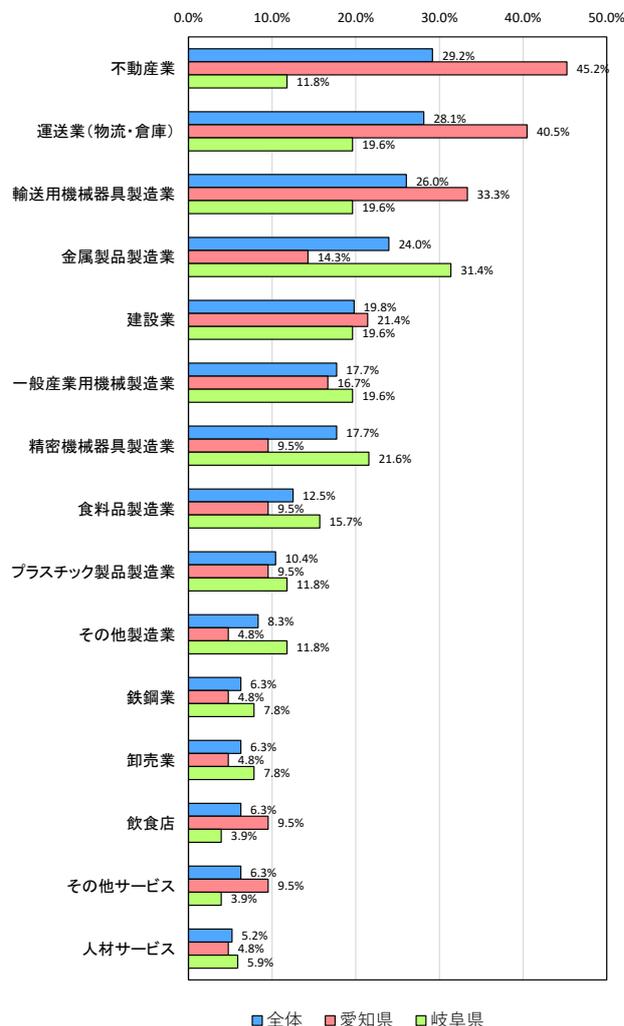
足元の投資 DI（前年比）は、「人材関連投資」（63.5）、「省力化投資」（51.0）、「デジタル投資」（51.0）など、いずれも増加しており、今後も増勢は続く見通し。投資に積極的な業種は、「不動産業」（29.2%）、「運送業（物流・倉庫）」（28.1%）、「輸送用機械器具製造業」（26.0%）となった。

- ・エリア内企業の設備等投資の動向について、足元（前年比）と今後の見通しについて尋ねた。投資 DI（足元・「増えている」―「減っている」）は、「①増産・新規投資」が 32.3、「②省力化投資」が 51.0、「③更新投資（維持・補修）」が 27.1、「④デジタル投資（IT化・DX等）」が 51.0、「⑤人材関連投資（採用・定着・育成）」が 63.5 だった。投資 DI（今後の見通し・「増えそう」―「減りそう」）は値が高い順に、「⑤人材関連投資」（67.7）、「④デジタル投資」（52.1）、「②省力化投資」（49.0）となった。いずれの DI 値も高く、投資が増加傾向である様子がうかがえる。県別にみると、愛知県では、いずれの投資も岐阜県に比べ高い数値となっている。特に足元では「②省力化投資」、「④デジタル投資」の DI 値で岐阜県との差が大きい。
- ・投資に積極的な業種を尋ねたところ、「不動産業」の回答が 29.2%と最も多く、次いで「運送業（物流・倉庫）」が 28.1%、「輸送用機械器具製造業」が 26.0%となった。県別にみると、愛知県では、「不動産業」（45.2%）、「運送業」（40.5%）、「輸送用機械器具製造業」（33.3%）が、岐阜県では、「金属製品製造業」（31.4%）、「精密機械器具製造業」（21.6%）の回答が多い。エリア内では製造業での積極的な投資が確認できる一方、愛知県は、首都圏などと同様に「不動産業」、「運送業」による投資が活発である様子がうかがえる。

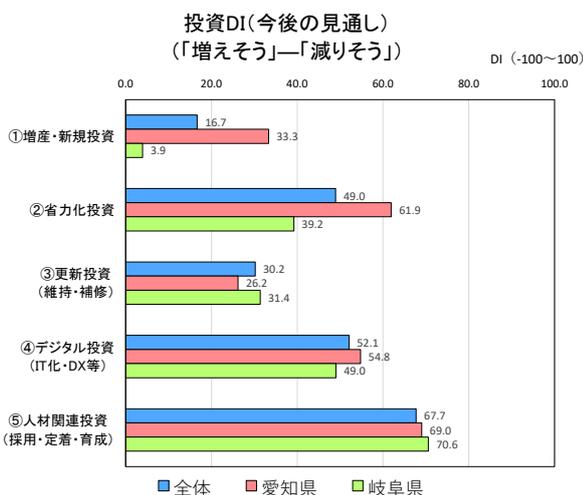
エリア内企業の足元の設備等投資（前年比）



投資に積極的な業種（全 30 業種中、上位 15 業種）



エリア内企業の設備等投資の今後の見通し



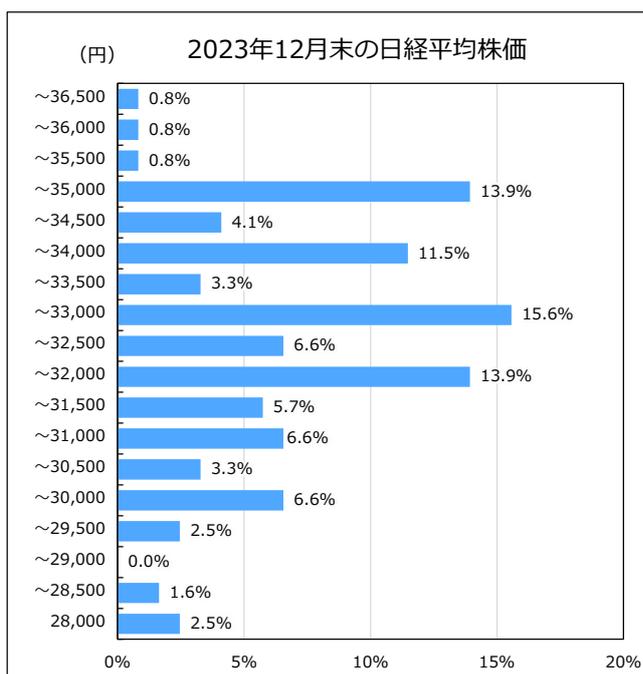
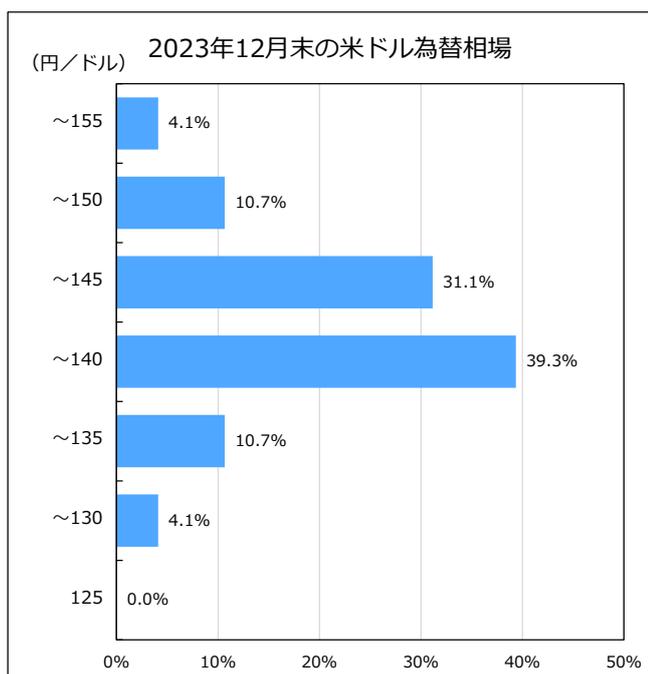
追加調査 2

「2023年12月末の米ドル為替相場・日経平均株価」

2023年12月末の相場予想の平均は、米ドル為替相場は1ドル＝141.06円と、米国の金融引き締め長期化および日銀の金融緩和修正の先延ばしに伴う日米金利差拡大により、円安が続くと予想する声が多い。日経平均株価の予想平均は32,559円だった。

2023年12月末の為替・株式の予想を尋ねたところ、米ドル為替相場の予想平均は1ドル＝141.06円、日経平均株価の予想平均は32,559円だった。米国の金融引き締め長期化および日銀の金融緩和修正の先延ばしに伴う日米金利差の拡大により、円安が継続するとの予想から、「135円超140円以下」が多かった。

県別に見ると、米ドル為替相場の予想平均は、愛知県が140.84円、岐阜県が141.14円と、岐阜県がやや円安寄り、日経平均株価の予想平均は、愛知県が32,231円、岐阜県が32,807円と、岐阜県がやや強気な予想となった。



2023年12月末の米ドル為替相場 (円/ドル)

	全体	愛知県	岐阜県
平均値	141.06	140.84	141.14
最大値	153.50	151.30	153.50
最小値	126.00	126.00	130.00
最頻値	140.00	140.00	140.00
中央値	140.00	140.00	140.00

(ご参考)

2023年8月相場 (円/ドル)	
月中高値	147.36
月中安値	141.51
月末時点	145.53

出所：Refinitiv

・予想コメント

円安要因 (一部抜粋)
・日米金利差の拡大
・米国の金融引き締め長期化、追加利上げ
・日銀の金融緩和修正の先延ばし
・日本の賃金上昇を伴わないインフレ進行
・底堅い米国景気
円高要因 (一部抜粋)
・米国の利上げ停止または利下げ
・米国のインフレ鈍化
・米国の景気後退懸念
・日米金利差の縮小
・日銀の金融政策修正

2023年12月末の日経平均株価 (円)

	全体	愛知県	岐阜県
平均値	32,559	32,231	32,807
最大値	36,500	36,000	36,500
最小値	28,000	28,000	28,000
最頻値	33,000	32,000	35,000
中央値	32,815	32,000	33,000

(ご参考)

2023年8月相場 (円)	
月中高値	33,488.77
月中安値	31,275.25
月末時点	32,619.34

出所：Refinitiv

・予想コメント

上昇要因 (一部抜粋)
・欧米金利上昇が一巡し、景気後退局面を脱する
・円安の進行
・輸出企業を中心とした好調な企業業績
・東証からの企業価値向上・資本効率改善要請
・インバウンド需要の回復
下落要因 (一部抜粋)
・米国の景気悪化懸念
・中国経済の不振
・日本株の調整局面入り
・日銀の金融政策変更に伴う長期金利の上昇
・米利下げによる円高転換

以上